ご相談窓口のご案内

弊社商品をご購入ありがとうございます。製品の使い方相談、修理相談については下記の窓口をご利用ください。
なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「こんなときは／故障かな？と思ったら」などを一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名（表紙右上表示）、②お買い上げ日、③お買い上げ販売店、④故障症状、⑤症状によっては製品を一緒に動作確認させていただく場合がありますので、製品を近くにご用意ください。具体的な症状をご確認の上ご連絡ください。

※出張での使い方の説明、修理はおこなっていませんので、ご了承ください。

ホームページで
製品サポート情報や、お問い合せについてご覧いただけます。
http://www.tohshoh.jp

使い方／修理相談窓口

電話 048-997-2244
FAX 048-997-2082
受付時間　月～金　9:30～17:30　休業日　土･日･祝日

株式会社とうしょう　カスタマーサービス
〒340-0802　埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1

保　証　書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

品 名	TS-6885 W･CDマルチプレーヤー	
お客様	お名前	ご住所 電話番号　（　　）
お買上げ日 年　月　日		取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間 （お買上げ日より）	本体1年 （但し消耗品は除く）	

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
⑥本書のご提示がない場合。
⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※一年間は無料修理をおこないますが、お買い上げ1ヵ月過ぎての修理依頼に関して送料はお客様ご負担にさせていただきます。なお修理完了後、弊社からの送料は無料にさせていただきます。

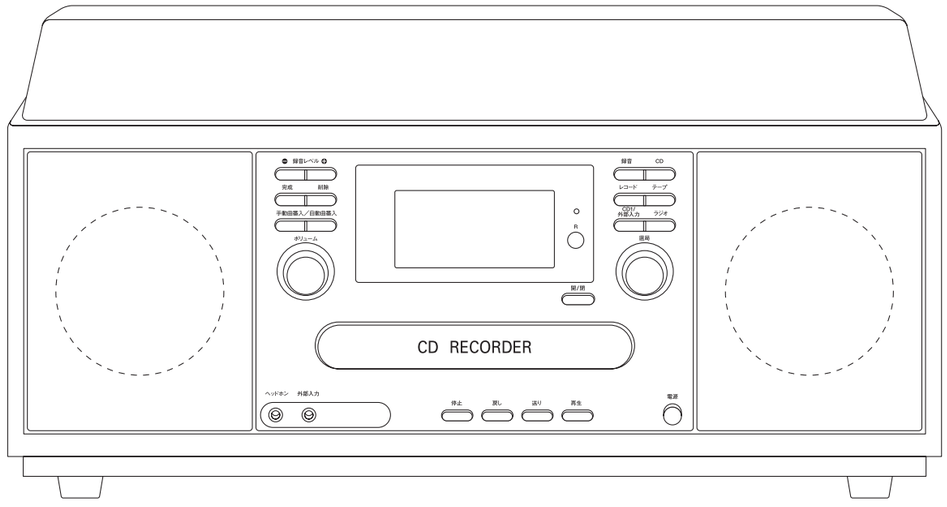
TS-6885

W･CDマルチプレーヤー

取扱説明書（保証書付）

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



輸入元：株式会社とうしょう
住　所：〒340−0802　埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442−1
カスタマサポート：048−997−2244

目　次

仕　様……2
安全上の注意……3
録音用CD-R／CD-RWについて ……4
各部の機能と付属品……5
BUSY表示時の注意事項……6
録音レベルの調整について……6
リモコンの各部の名称と機能……7
レコードプレーヤーの使い方……8
ラジオの使い方 ……10
カセットプレーヤーの使い方 ……11
CDプレーヤー2の使い方 ……12
CDプレーヤー1の使い方 ……16
レコードからCDへの録音方法……18
CDからCDへの録音方法 ……20
テープからCDへの録音方法 ……22
音楽プレーヤーからCDへの録音方法 …24
CDのファイナライズ作業 ……26
CD-RWの曲データの消去 ……27
オーディオ機器などとの接続……28
自動曲番入り機能について……28
ヘッドホンの使用方法……29
著作権についてのご注意……29
録音可能なCDについて ……29
日常のお手入れ……30
レコード針の交換……30
こんなときは／故障かな?と思ったら……31
ご相談窓口のご案内……32
保証書……32

仕　様

●CDプレーヤー
周波数特性：60Hz～16KHz（±3dB）
CD方式：Audio CD／CD-R／CD-RW

●レコードプレーヤー
モーター：DC方式
駆動方式：ベルトドライブ
回転数：33⅓／45／78rpm
信号雑音率：32dB
針：サファイア

●ラジオ
FM：76.0MHz～108MHz
AM：540KHz～1,600KHz
周波数特性：100Hz～4KHz

●カセットプレーヤー
再生／早送り専用
ステレオヘッド

●アンプ
消費電力：30W
出力：2.5W+2.5W
周波数特性：60Hz～16KHz

●スピーカー
個数：2個
サイズ：100mm／27mm
インピーダンス：8Ω

●ヘッドホン端子：3.5mm
外部入力端子：ステレオ　3.5mm
外部出力端子:アンプへの接続 6㎜ケーブル

こんなときは／故障かな?と思ったら

●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症　状		ここをお確かめください
スピーカー	音が出ない 音が途切れる	●音量は十分ですか? ●ヘッドホンをジャックに差したままになっていませんか?
リモコン	リモコンが 使えない	●本体の電源はONになっていますか? ●リモコンと本体の間に障害物はありませんか? ●リモコンと本体との距離が離れすぎていませんか?（約2m以内） ●リモコンの電池は正しい向きに入っていますか? ●リモコンの電池が消耗していませんか?
CDレコーダー	再生できない 音が出ない	●CDボタンを押して選択しましたか? ●CDのオモテ側を上向きに、正しく挿入されていますか? ●CDの再生面が汚れていませんか?やわらかい布などでふいてください。 ●ファイラナイズ（完成処理）しましたか?していないと他のCDプレーヤーで再生できません。 ●CD-RWで作ってファイナライズしたCDでも、CD-RWの再生機能がない他の機器では再生できませんのでご注意ください。
	録音できない	●音楽用のCD-RまたはCD-RW使用していますか? ●録音されてない空のCDディスクですか?
レコード プレーヤー	ターンテーブル が回らない 音が出ない	●レコードボタンを押して選択しましたか? ●針の保護カバーを前方にスライドさせ、はずしてありますか? ご確認ください。
カセットテープ	テープが 入らない 回らない	●テープは正しく録音さたものですか? ●テープボタンを押して選択しましたか? ●テープを挿入するとき、上下、左右、正しい向きになっていますか？
ラジオ	音が出ない	●ラジオボタンを押して選択しましたか? ●AM･FMの選択はラジオボタンを押すたびに切換ります。 どちらかを選択しましたか? ●ラジオ選局ツマミでお聴きになりたい番組に周波数を合わせましたか?
	雑音が入る	●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。 （FM受信時） ●本機の設置場所、設置方向を変えてください。（AM受信時）

日常のお手入れ

⚠ 注意

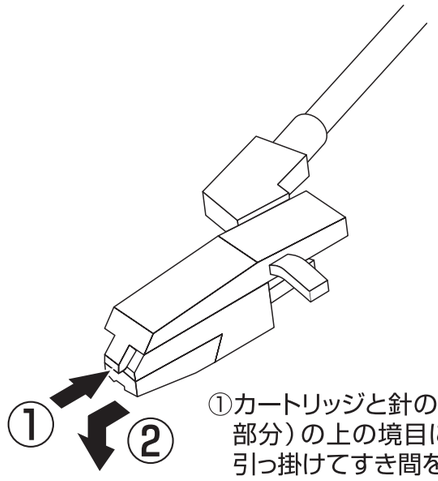
●高温多湿の場所に設置しないでください

正常な機能を維持し、末永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使いにならないでください。変形したり、故障の原因となることがあります。

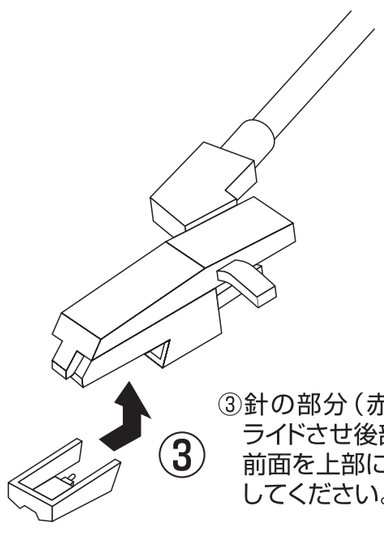
●汚れを取るときは

汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ず電源プラグを抜いてから行なってください。
研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質したり、曇ったりすることがあります。

レコード針の交換（別売品）



①カートリッジと針の部分（赤い部分）の上の境目に指の爪を引っ掛けてすき間を作ります。
②前面にスライドさせ外します。



③針の部分（赤い部分）をスライドさせ後部分はめ込み、前面を上部に押込み、セットしてください。

注 意

●レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いは十分注意してください。
●針先の耐久時間は、約100時間です。それ以上使い続けると、大切なレコード盤を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。

安全上の注意

絵表示について　この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
	△記号は注意（注意・警告・危険を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠ 警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。

●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

●本器の側面、裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。
また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
分解禁止

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）

⚠ 注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。

●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

録音用CD-R/CD-RWについて

⚠注意

- ●録音に使用できるディスクは、音楽録音用のCD-RとCD-RWです。CD-Rに書き込んだデーターは消すことはできません。CD-RWは記録したり消したりすることができます。
- ●CD-R、CD-RWディスクはメーカーまたは、CDディスクにより録音できない場合があります。特にテープ／レコード（アナログ製品）からの録音の場合、CD記録ソフトの特性などにより録音・再生できないことがあります。
- ●CD-R、CD-RWディスクはメーカーによっては、本機の性能を十分発揮できない場合がありますので、あらかじめテストをお勧めします。

CD-Rについて

- ●録音後は音楽データーを消すことはできません。
- ●完成処理（ファイナライズ処理）の前であれば、追加録音することができます。

CD-RWについて

- ●録音後、削除ボタンにて最後に録音された曲から順番に1曲づつ消すことができます。また全ての曲を一度に消すこともできます。
- ●完成処理（ファイナライズ処理）の後に曲を消す場合は、削除ボタンにて全ての曲を消してください。（詳細はP.27のCD-RWの曲データの消去を参照にしてください。）

注意

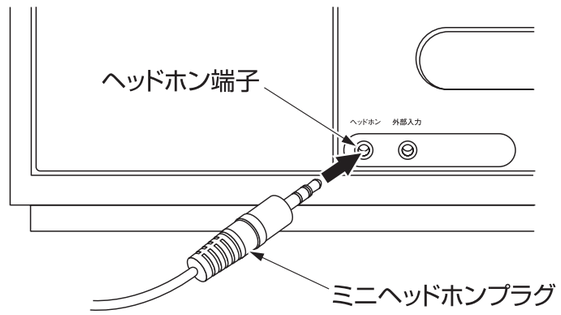
※市販のCDプレーヤー（特に古い機種）によってはCD-RW再生機能が無いものがありますので、再生することができません。

※CD-Rは一度録音しますと消すことができませんので、失敗が心配な場合はCD-RWを練習用としておすすめします。

パソコンなどで製作されたMP3のCD再生について

- ●MP3方式で製作されたCDは、前面のCD2のCDプレーヤーでは再生できません。
- ●側面のCD1のCDプレーヤーで再生できますので、MP3方式のCDでも前面のCD2のレコーダーででコピーできます。

ヘッドホンの使用方法



- ●本機で使用できるヘッドホンの仕様は、プラグがミニタイプ（φ3.5mm）でインピーダンス8～32Ωです。ご利用前に確認してください。
- ●ヘッドホンのプラグを本機前面の「ヘッドホン端子」に差し込みます。ヘッドホンを使用の時は、左右のスピーカーは自動的に聞こえない状態になります。ヘッドホンの音量はボリュームツマミで適切な大きさに調整して聞いてください。

著作権についての注意

⚠警告

あなたがレコードやCD、録音物などから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断では使用できません。

（社）私的録音保証金管理協会
TEL.（03）3261−3444

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（CD、ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。従って、音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したCDなどの使用には一定の制限があります。
たとえば、

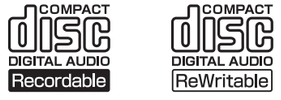
- ●放送やレコード、CD、録音物から録音したCDを売ったり配ったりすること、あるいは、貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
- ●レコードやCD、録音物またはそれから録音したCDや放送から録音したCDを営利（店のBGMなど）のために使用すること。

これらの場合には、著作権法上の権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会（JASRAC）もしくは最寄りの支部におたずねください。

録音可能なCDについて

※録音可能なディスクは音楽用「DIGITAL AUDIO」表示のあるCD-R／CD-RWです。

○使用いただけるディスク



✕使用できないディスク

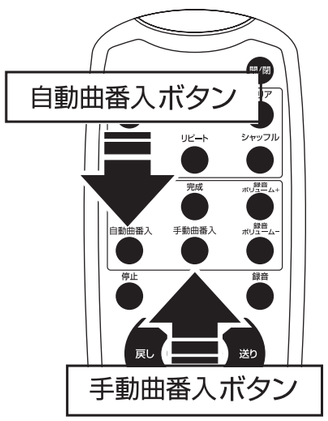
- ●CD-Rはライトワンス（録音後の消去ができない）CDです。ファイナライズ（完成）を行なわない限り、曲を追加して録音することはできますが、消去はできません。
- ●CD-RWはリライタブル（消去することで、また録音ができるようになる）CDです。最後に録音した1曲のみの消去または、ディスク内のデータをすべて消去ができます。

自動曲番入り機能について

自動曲番入りの使用方法

CDの録音中に曲番（曲と曲の間に空きができる）が自動で入る便利な機能が付いています。
この機能は、レコードの録音、テープの録音、CDからCDへの録音の時などに働きます。

●録音ボタンの後に本体／リモコンの自動曲番入ボタンを押してください。
　ディスプレイ表示「AUTO TRACK INCREMENT」が表示されます。



注意

- 音楽CD、レコード、カセットテープの曲と曲の間（空白信号）を読取、曲間（曲番）を作りますが、録音状態により曲と曲の間に（空白）が無い場合は曲が続いてしまい一曲と認識する場合があります。
- 曲と曲の間（空白）が短かったりする場合は、曲間（曲番）がついても次の曲の頭が切れる場合があります。
- 一曲の中に空白部分があると曲間と認識し一曲の中で曲番がつく場合もあります。
  ※上記の場合は手動で曲番を入れてください。（曲が終わるごとに曲番入を押します）

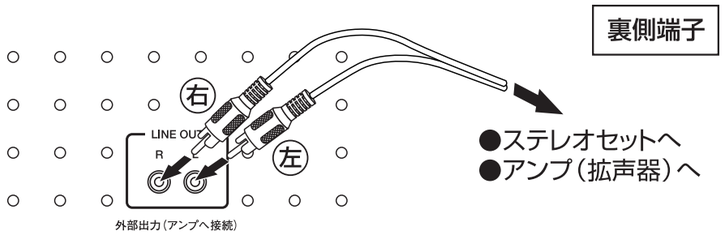
曲番入りボタンの使用方法

●CDへ録音中に本体／リモコンの手動曲番入ボタンを押すと曲と曲の間に曲間（曲番）ができます。

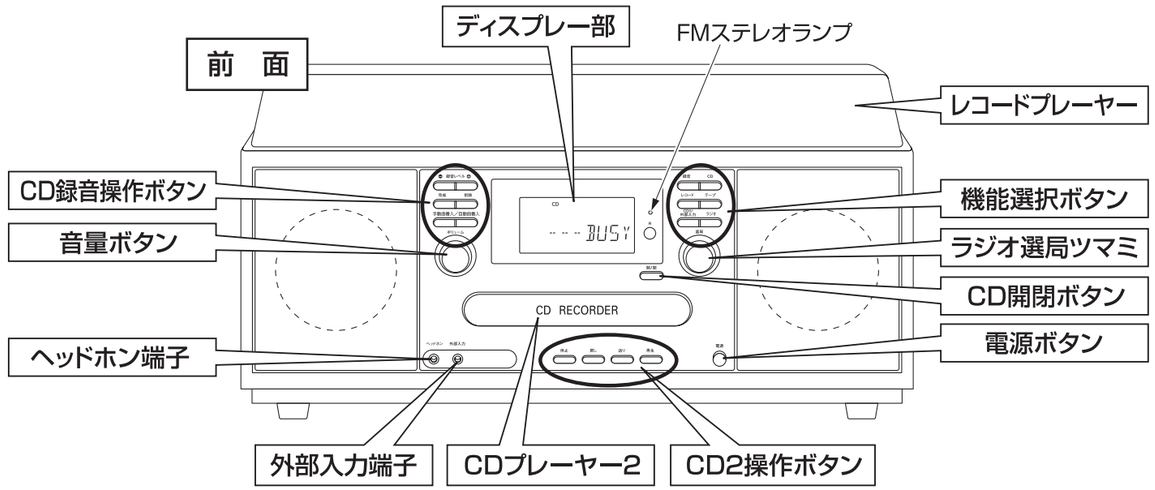
●曲と曲の間が少ないと次の曲の頭が切れることがありますので 押すタイミングにご注意ください。

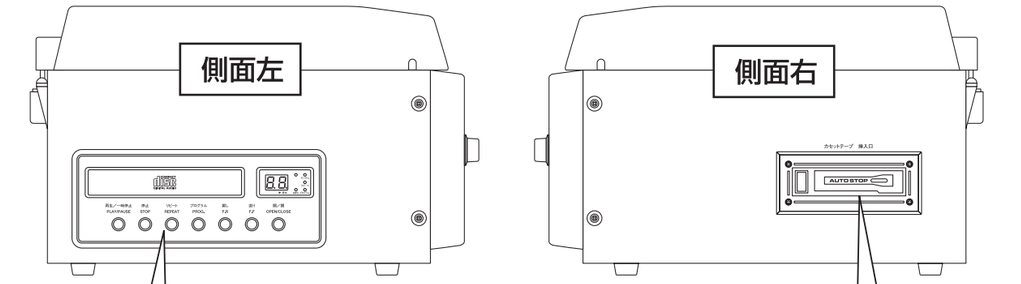
オーディオ機器などとの接続

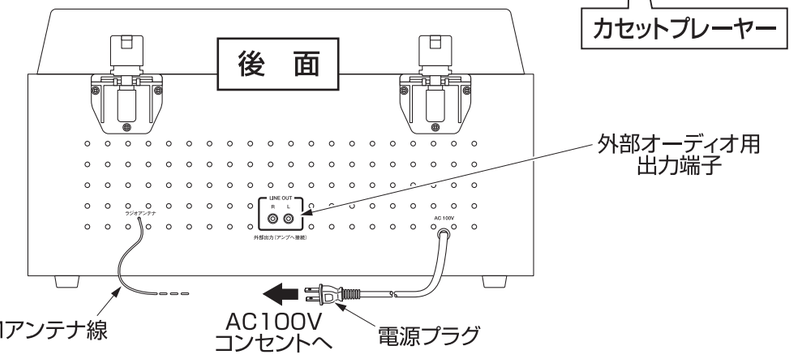
●外部出力端子（LINE　OUT）に外部の機器（ステレオ装置など）に接続すると、本機再生した音を外部の機器を通して聞くことができます。



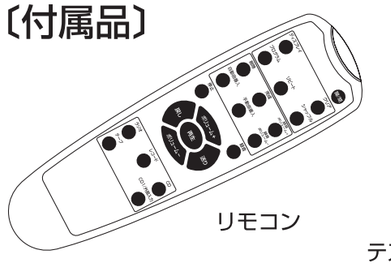
各部の機能と付属品

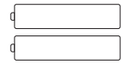


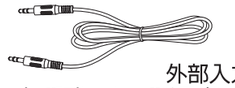


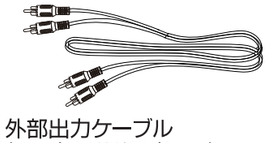


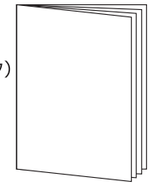
〔付属品〕



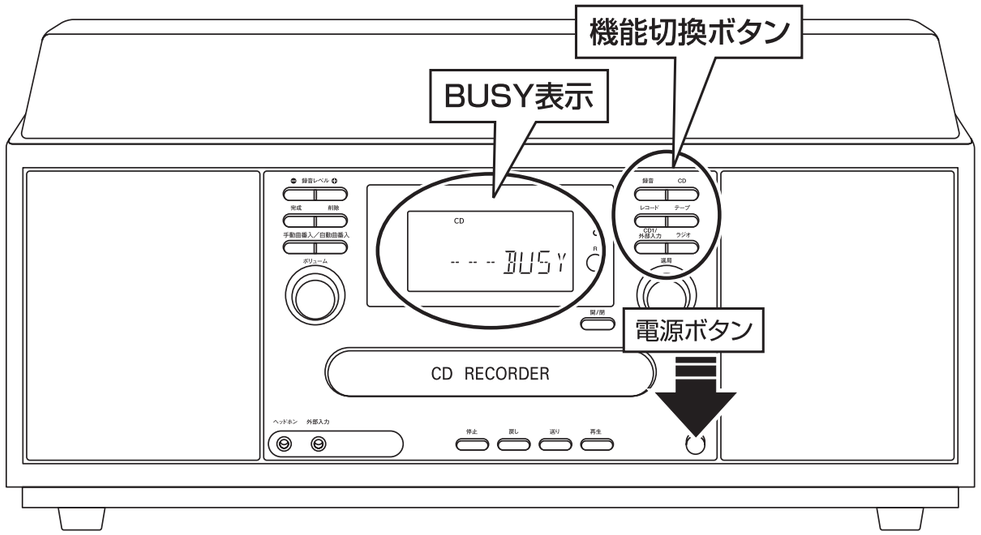






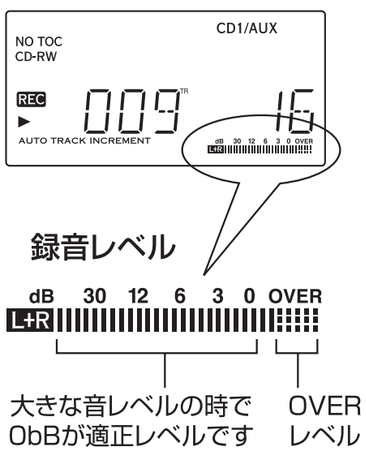


BUSY表示時の注意事項

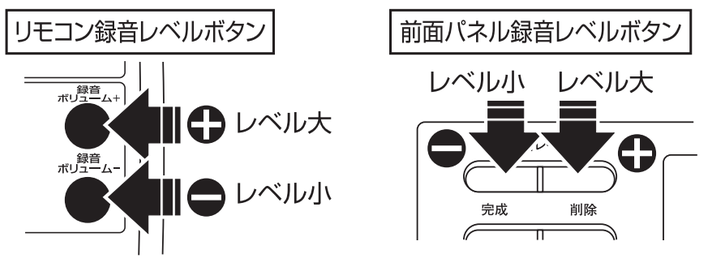


- 電源を入れるとディスプレーに「BUSY」表示が出ます。「BUSY」表示の意味は「動作切換中」「処理中」のことです。また、機能切換で他の機能を選択した時にも表示されます。
- 「BUSY」表示が出ているときは、他のボタンを押さないでください。ディスプレーの「BUSY」表示が消え、他の表示になってから次のボタンを押してください。
- 「BUSY」表示中に他のボタンを何度も押したり、ポンポンと早く押したりすると誤作動をおこし、動作が遅くなったり、「BUSY」表示が消えなくなったり、ボタンが反応しなくなる場合があります。
- そんなときは電源を一度切り、コンセントを抜いて時間を置いて（5分～10分）から、再びコンセントをさして電源を入れてください。それでも機能が回復しないときは、一日置いてからためしてください。

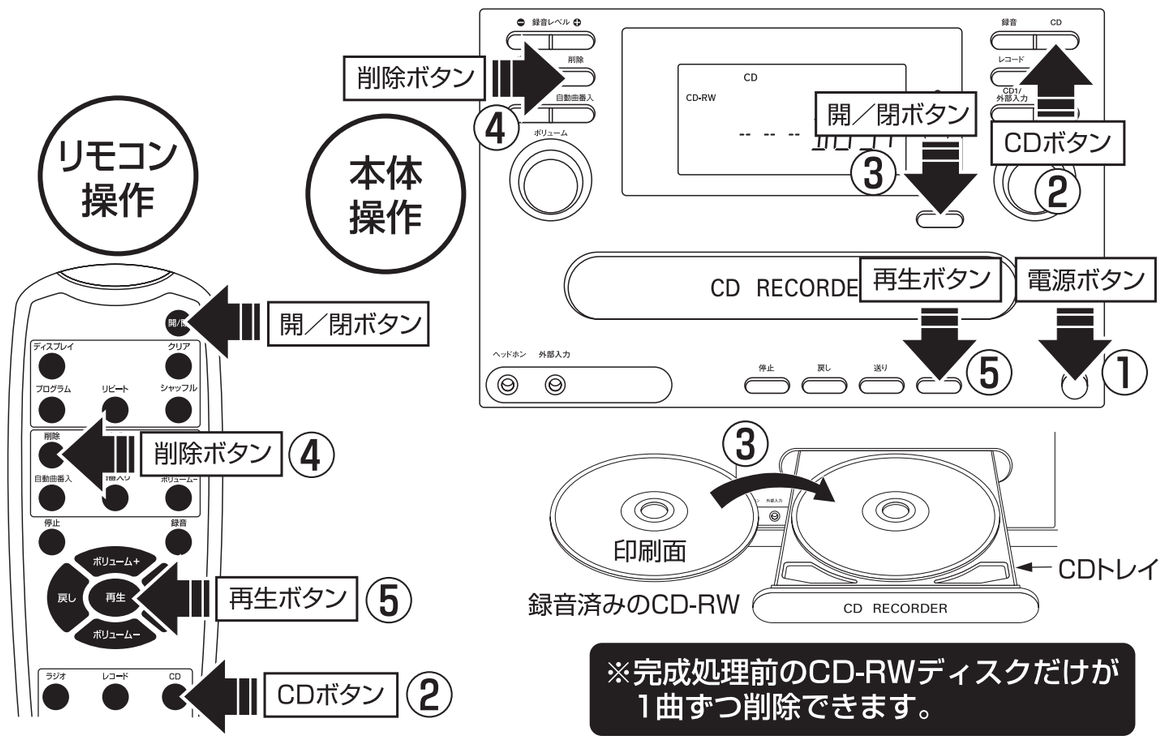
録音レベルの調整について



- 音楽録音時に録音レベルランプが表示されます。録音レベルボタンで調整してください。「0」付近が適正です。
- レベルが小さいと再生したとき、録音レベルが小さいのでボリュームを大きくするために雑音が入ります。また、大きすぎる（OVERレベル）と音が割れたり歪んだりします。



CD-RWの曲データーの消去

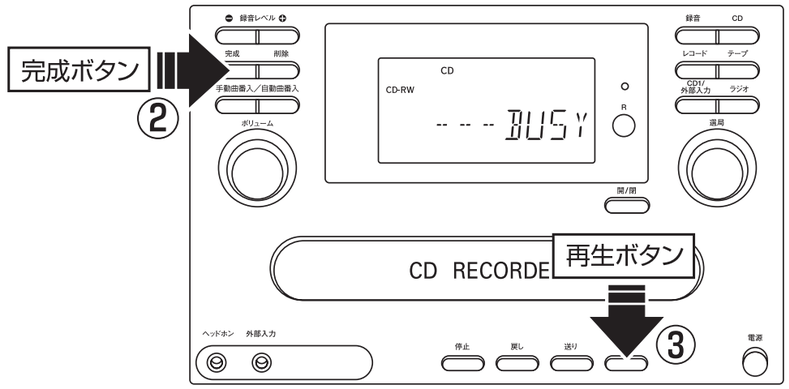


※完成処理前のCD-RWディスクだけが1曲ずつ削除できます。

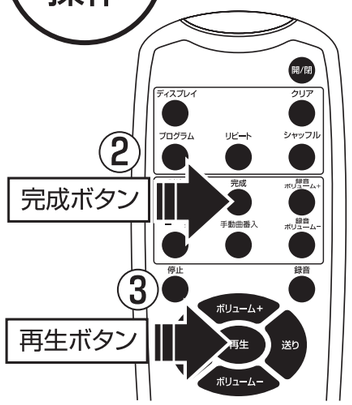
	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①	電源ボタンを押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	CD -- -- BUSY	ディスプレーに「BUSY」表示 「BUSY」表示が消えるまで 次のボタンを押さないでください
②	CDボタンを押し CDを選択します	CD NO DISC	CDが入っていない状態です
③	CDの開／閉ボタンを押し トレイに録音済CDを入れます	CD NO TOC CD-RW 0 15TR 63:25	CDの内容が表示されます
④	削除ボタンを押します （1曲ずつの消去）	CD NO TOC CD-RW ERASE 09	左の画面は1曲だけ削除です 一度停止ボタンを押します
	削除ボタンを長押しします （全ての内容を消去）	CD NO TOC CD-RW ERASE ALL	長押しすると すべてのデータの 削除の画面にになります（右の画面）
⑤	CD再生/ 一時停止ボタンを押します	CD NO TOC CD-RW -- -- BUSY	どちらか選んで再生ボタンを押すと 消去が開始されます「BUSY」表示
⑥	消去完了	CD NO TOC CD-RW 000TR 0:00	1～2分かかり消去が完了します 画面に「000 0:00」が表示されます

CDのファイナライズ（完成）作業

本体操作



リモコン操作

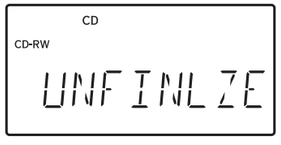


- ●ファイナライズすると他メーカーのCDプレーヤーで再生可能となります。ファイナライズしなくても本機では再生できます。
- ●CDのボタンが選択され、トレイに仮録音されたCD-RまたはCD-RWが入った状態でファイナライス（完成）作業をおこないます。
- ●CD-Rディスクはファイナライズすると、追加録音、音楽データの消去ができなくなりますので、ご注意ください。
- ●CD-RWのディスクはファイナライズしてもデーター消去をすると、もう一度録音可能になります。
- ●CD-RWのディスクをファイナライズして再生する場合、CD-RWの再生機能がない、他のプレーヤーでは再生できません。

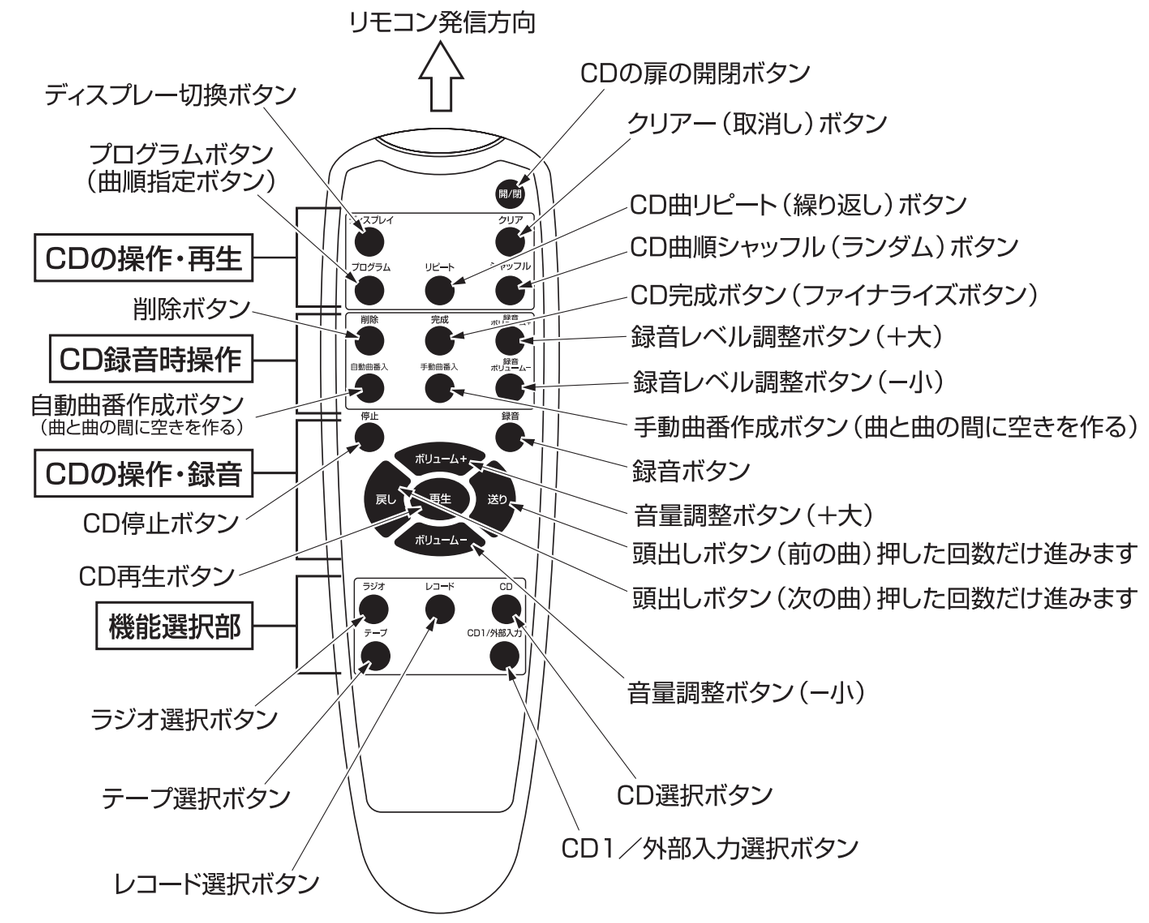
	操 作 方 法	ディスプレー表示	詳 細 説 明
①	仮録音されたCDを トレイにセットします	CD NO TOC CD-RW 0 15 63:25	セットすると CDの内容が表示されます
②	完成ボタンを押します	CD NO TOC CD-RW FINALIZE	「FINALIZE」表示が出て 完成準備ができました
③	再生/ 一時停止ボタンを押します	CD NO TOC CD-RW --:--:-- BUSY	ディスプレーに「BUSY」表示 ファイナライズ（完成）作業中
④	自動的にトレイが開きます	CD OPEN	1～3分かかります 自動でCDが出ます　CD完成です

●録音したCD-RWの完成済ディスクの解除をすることができます。

- ●完成済のCD-RWディスクをトレイにセットします。
- ●削除ボタンを押すと右図の「UNFINLZE」が表示されます。
- ●続けて再生ボタンを押すと「BUSY」が表示されます。
  1～2分で完成処理が解除されます。
- ●追加録音することができるようになります。

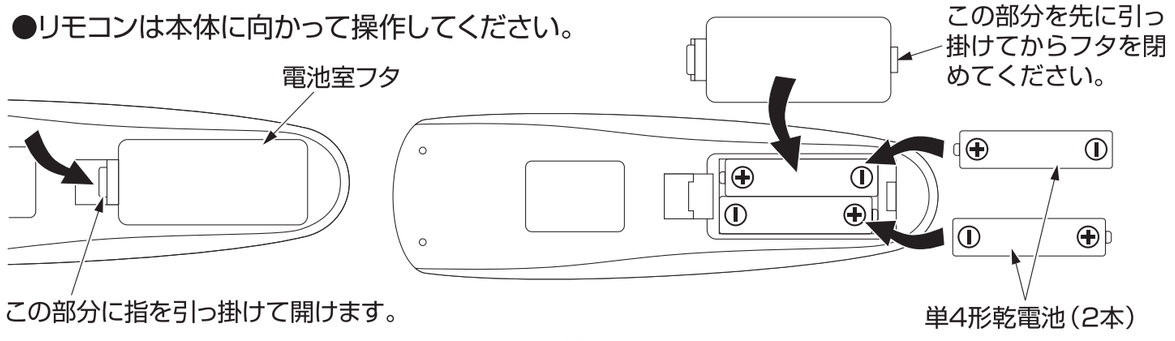


リモコンの各部名称と機能



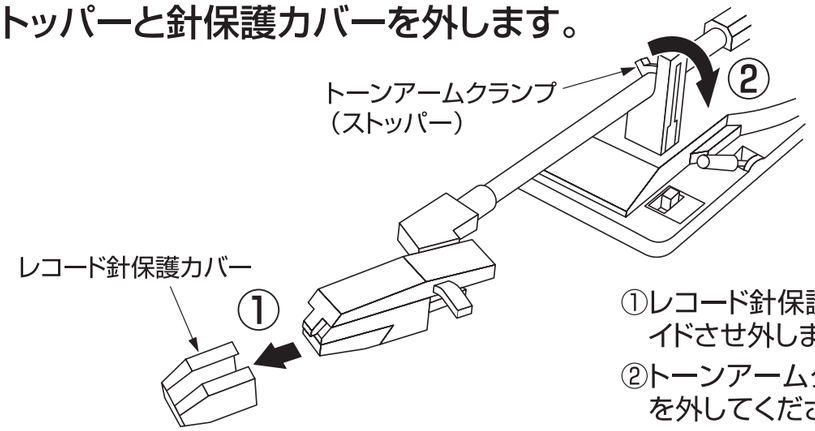
●電池の交換方法（入れかた）

- ●2本の電池（単4電池）を入れ、フタを閉めてください。リモコンの操作がしにくくなったら、新しい電池に交換してください。＋とーの向きを正しく入れてください。付属乾電池は機能テスト用電池です。
- ●使用範囲は2m以内です。
- ●リモコンは本体に向かって操作してください。

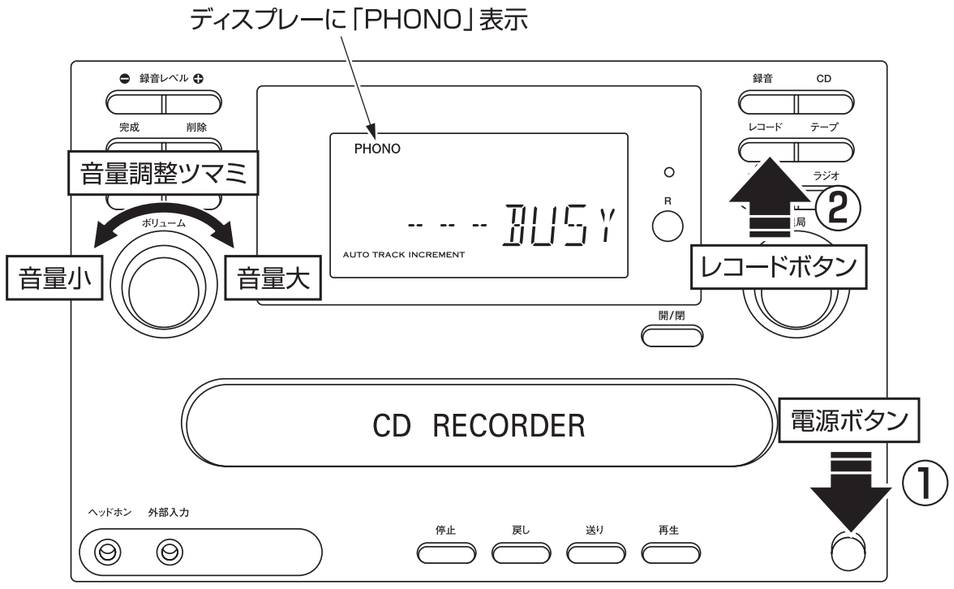


レコードプレーヤーの使い方（オートリターン機能搭載）

●ストッパーと針保護カバーを外します。



①レコード針保護カバーを前方にスライドさせ外します。
②トーンアームクランプ（ストッパー）を外してください。



①前面パネルの「電源ボタン」を押し電源スイッチを入れます。「ディスプレー」が点灯します。
②「レコード」選択ボタンを押します。
③ディスプレー「BUSY」が表示されます。しばらくすると「PHONO」表示だけになります。
これで準備完了です。

	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①	電源ボタンを押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	CD -- -- -- BUSY	ディスプレーに「BUSY」表示 「BUSY」表示が消えるまで 次のボタンを押さないでください
②	CDボタンを押し CDを選択します	CD NO TOC CD-RW	ディスプレーに「NO TOC」表示 「CD-RW」または「CD-R」表示
③	CDの開／閉ボタンを押し トレイに録音用CDを入れます	CD NO TOC CD-RW 000 0:00	CDの表・裏を確認して入れます ディスプレーに「000 0:00」表示
④	音楽プレーヤーのヘッドホン端子と 前面パネルにある外部入力端子を 付属の接続ケーブルでつなぎます	CD NO TOC CD-RW 000 0:00	接続は付属の接続ケーブルを ご利用ください
⑤	CD1/外部入力ボタンを押し 選択します	CD1/AUX NO TOC CD-RW AUTO TRACK INCREMENT	ディスプレーに「CD1/AUX」表示
⑥	CDの 録音ボタンを押します	CD1/AUX NO TOC CD-RW REC 000 0:00 AUTO TRACK INCREMENT	録音状態になります
⑦	CD再生/ 一時停止ボタンを押します	CD1/AUX NO TOC CD-RW REC 000 0:01 AUTO TRACK INCREMENT	録音レベルを「0」付近になるように 録音レベルボタンで調整してください
⑧	音楽プレーヤーの音楽を 再生します	CD1/AUX NO TOC CD-RW REC ▶ 000 0:26 AUTO TRACK INCREMENT	ディスプレーの秒数表示スタート 録音スタート　音楽が流れます
⑨	音楽プレーヤーから CDへ録音が始まります	CD1/AUX NO TOC CD-RW REC ▶ 013 0:16 AUTO TRACK INCREMENT	録音する音楽が終ったら 音楽プレーヤーを停止します
⑩	録音がが終りましたら 停止ボタンを押します	CD1/AUX NO TOC CD-RW AUTO TRACK INCREMENT	CDの内容が録音されました まだ完全には録音されていません
⑪	CDボタンを押します 録音された曲数、時間が表示	CD NO TOC CD-RW 01 54 9:15	CDやテープなどからも続けて録音できます。 完成作業をするとできなくなります。
⑫	CDを完成させる場合は ファイナライズ（完成）作業を おこなってください	CD NO TOC CD-RW FINALIZE	ファイナライズ（完成）作業をすると 他の再生装置（CDプレーヤーなど） で聴くことができます

※ファイナライズ（CDの完成）はP.26をご参照ください。

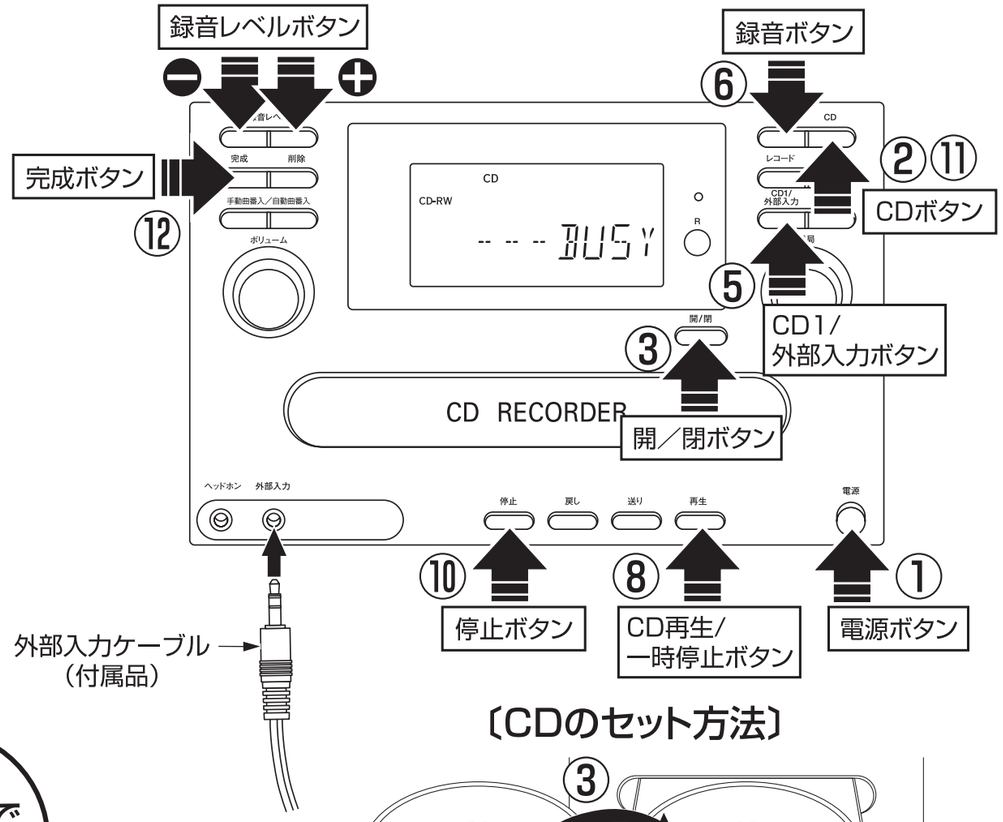
注意

●音楽プレーヤーのヘッドホン端子からの録音は、出力が大きかったり、音楽プレーヤーの音量の大きさなどにより本機の故障の原因になることがあります。特に出力が2W以上のプレーヤーの本機接続は故障の原因になることがあります。

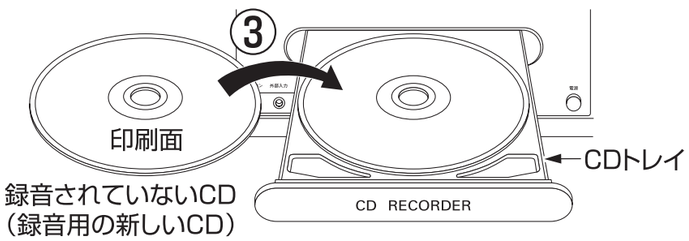
音楽プレーヤーからCDへの録音方法

※録音に使用するCDは使い慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

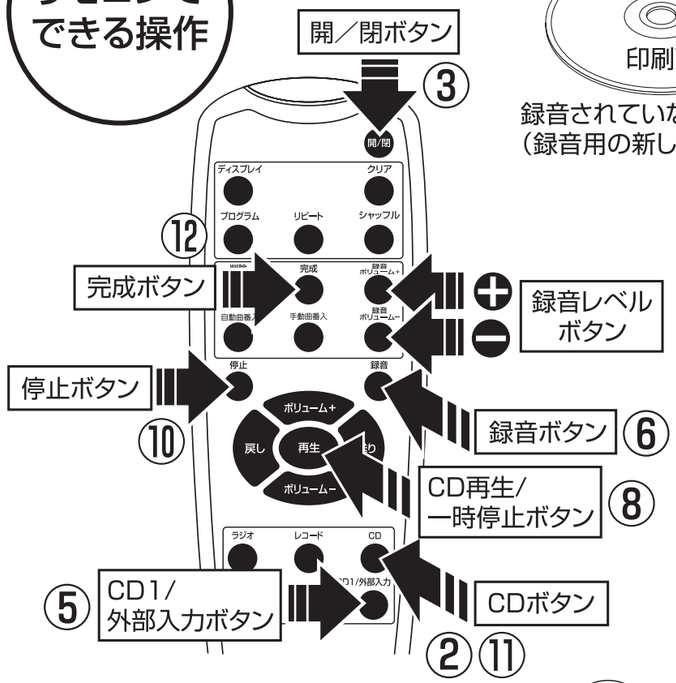
本体操作



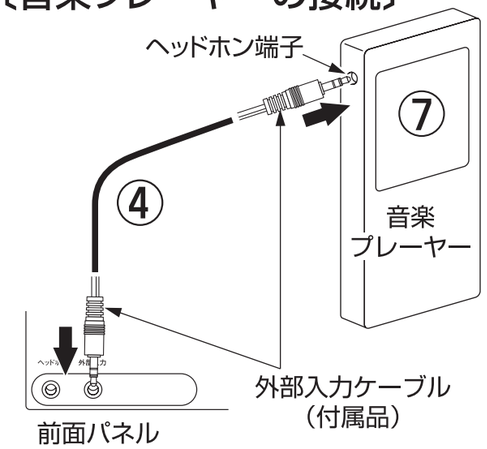
〔CDのセット方法〕

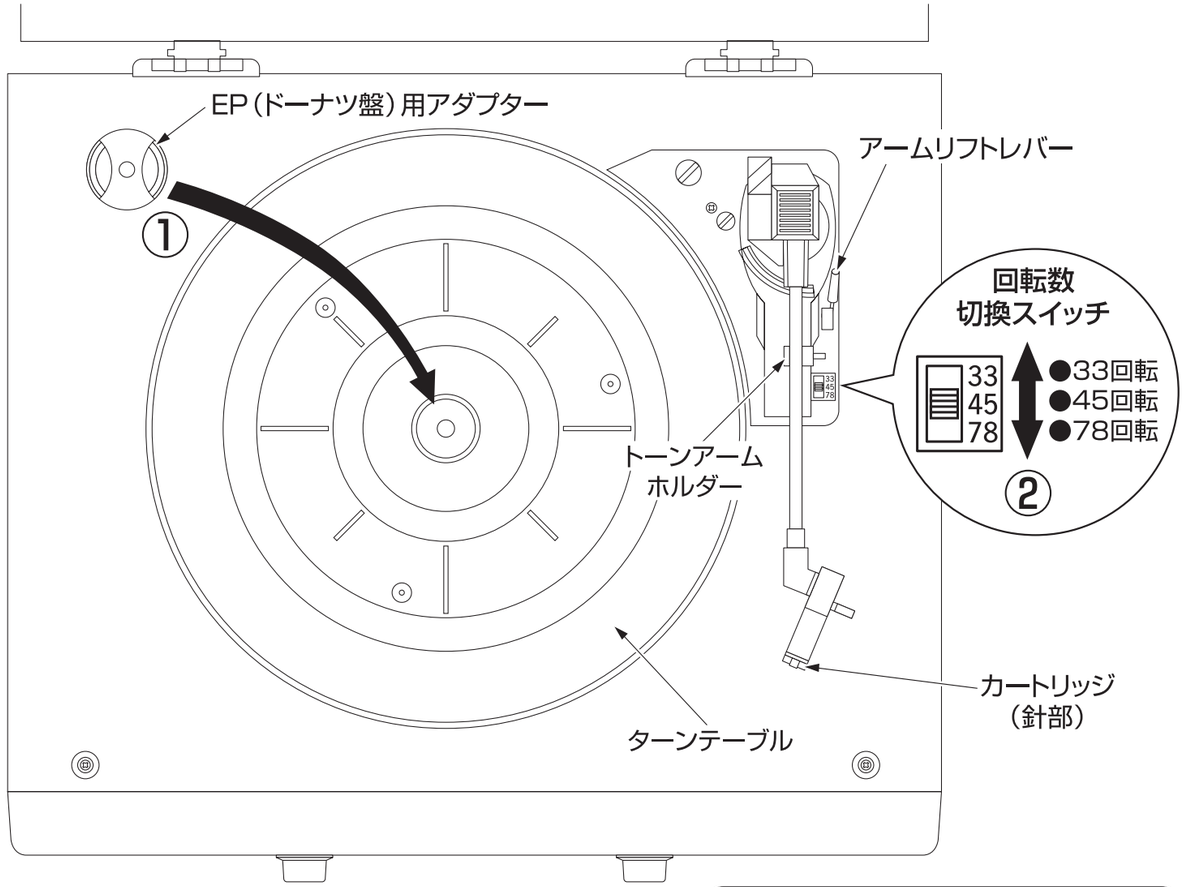


リモコンでできる操作



〔音楽プレーヤーの接続〕





①レコードをターンテーブルにのせます。EPレコード（ドーナツ盤）を聞くときは、センター軸に「アダプター」をのせてレコードをセットしてください。

②レコードの種類に応じて、「回転数切換」スイッチをスライドさせ、スピードを合わせます。

③アームリフトを後方に倒します。

④針のついたヘッドをレコードのフチ（音楽が始まる所）部に置きます。（ターンテーブルは自動で回り始めます。

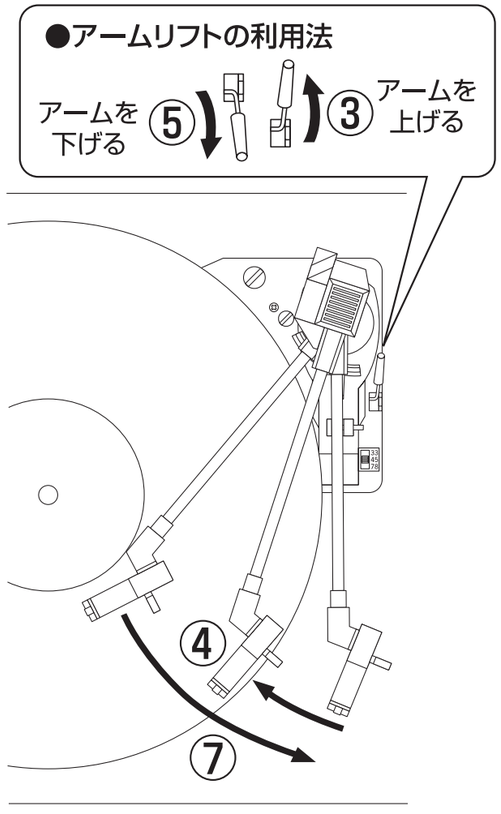
⑤アームリフトを前方に倒します。針が静かに下りてきて、演奏が開始されます。

⑥「音量調整ツマミ」を回して、調整してください。右に回すとと大きくなり、左に回すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。

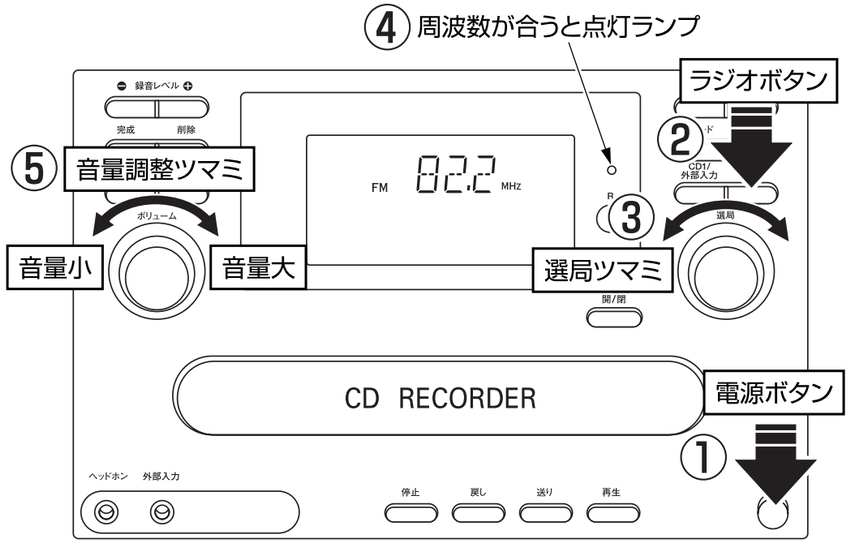
⑦レコードの演奏が終ると、自動でアームホルダーに戻り、ターンテーブルも停止します。
※オートリターン機能

⑧レコードの演奏途中でストップしたい場合は、レコード盤を傷つけないように静かにアームリフトを後方に倒し、アームをホルダーに手で戻してください。

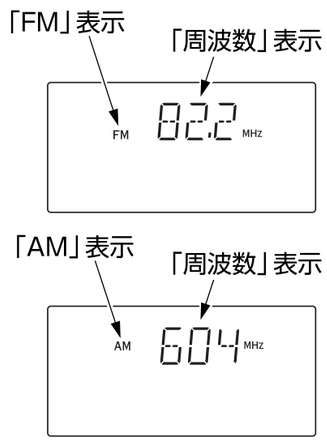
●アームリフトの利用法



ラジオの使い方



ラジオボタンを押すたびに
「FM」と「AM」が切換ります。



①前面パネルの「電源ボタン」を押して電源を入れます。「ディスプレー」が点灯します。

②「ラジオ」選択ボタンを押します。「AM」か「FM」が表示されます。もう一度押すとバンドが切換ります。ディスプレーを見て、お聴きになりたいAM放送かFM放送を選択してください。

③「選局ツマミ」を回して、お聴きになりたいラジオ局（周波数）に合わせます。

④AM放送を聴くとき、周波数が合うとランプが「緑色」に点灯しますので、放送局に合った目安になります。FM放送を聴くとき、FMステレオ放送に周波数が合うとランプが「赤色」に点灯します。

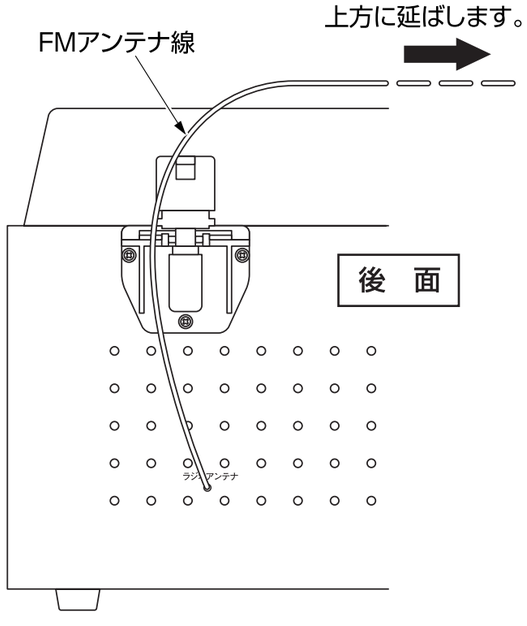
⑤音量調整ツマミを左右に回し、お好みの音量でお聴きください。（リモコンの音量調整ボタンでボリューム＋【音量大】、ボリューム－【音量小】で調整）

●外部FMアンテナの取付け

「FMアンテナ線」は、なるべく高いところに長く伸ばして取付けてください。
電波の状態、本機の設置場所によって位置を調整してください。

●AM放送を聴く時の注意

AMの電波は高い建物の影や鉄筋コンクリートのマンション内など、電波を受信しにくい場所があります。
本機の置き場所や向きを変え、電波を受信しやすい状態にしてお使いください。

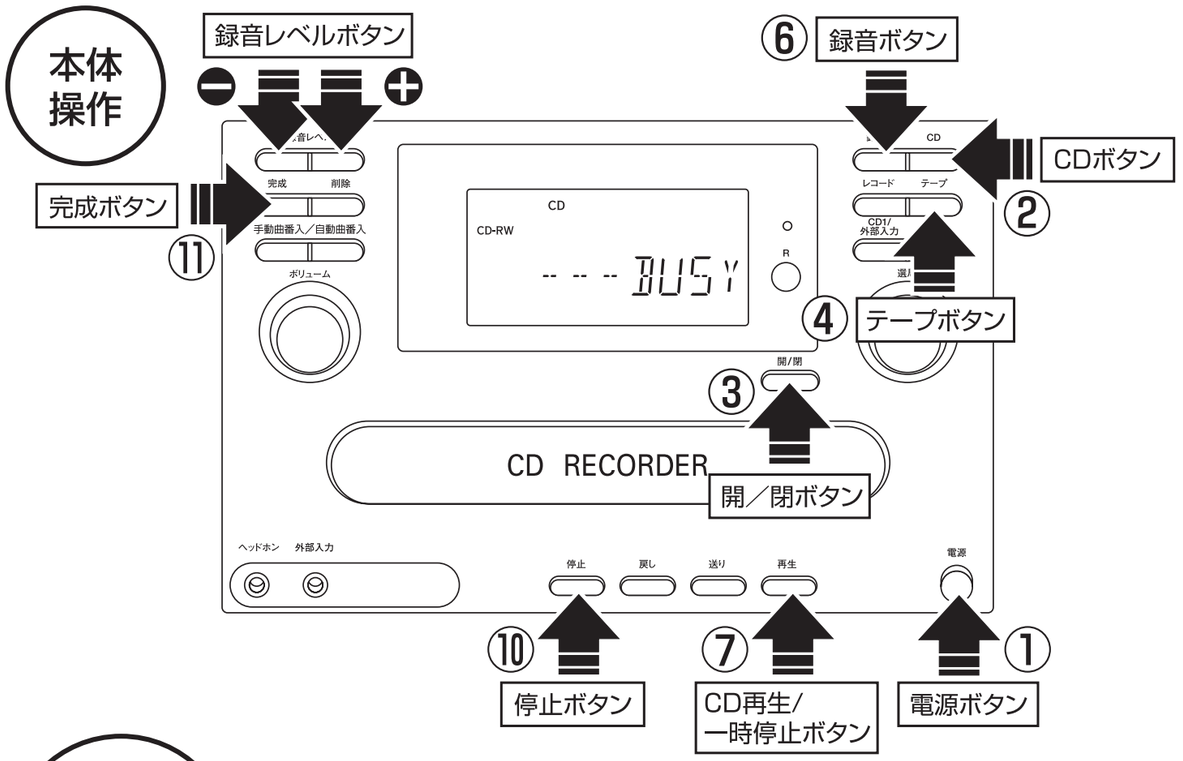


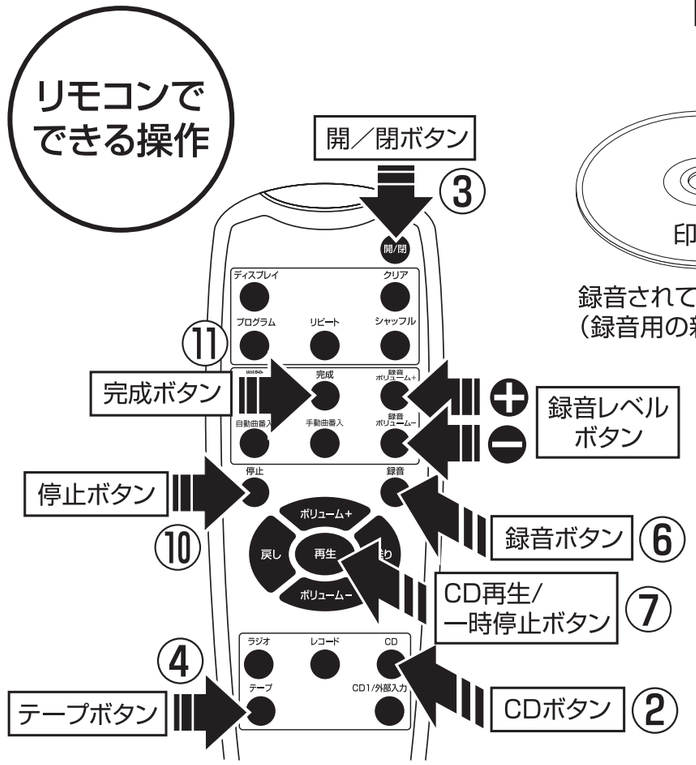
	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①	電源ボタンを押し 電源を入れます ディスプレーが点灯	CD -- -- -- BUSY	ディスプレーに「BUSY」表示 「BUSY」表示が消えるまで 次のボタンを押さないでください
②	CDボタンを押し CDを選択します	CD NO TOC CD-RW	ディスプレーに「NO TOC」表示 「CD-RW」または「CD-R」表示
③	CDの開／閉ボタンを押し トレイに録音用CDを入れます	CD NO TOC CD-RW 000 0:00	CDの表・裏を確認して入れます ディスプレイに「000 0:00」表示
④	テープボタンを押し 選択します	TAPE NO TOC CD-RW AUTO TRACK INCREMENT	ディスプレーに「TAPE」表示
⑤	テープの早送りボタンで 録音したい曲の頭にして おきます	TAPE NO TOC CD-RW AUTO TRACK INCREMENT	再生されたとき録音したい曲が 再生されるようにしておきます 一度テープを取出しておきます
⑥	CDの 録音ボタンを押します	TAPE NO TOC CD-RW REC 000 0:00 AUTO TRACK INCREMENT	ディスプレーに「REC」表示 一時停止状態になります
⑦	CD再生/ 一時停止ボタンを押します	TAPE NO TOC CD-RW REC 000 0:01 AUTO TRACK INCREMENT	録音レベルを「0」付近になるように 録音レベルボタンで調整してください
⑧	録音したい面を上にして テープ挿入口からテープを 入れると自動再生→自動録音	TAPE NO TOC CD-RW REC 000 0:26 AUTO TRACK INCREMENT	ディスプレーの秒数表示スタート スピーカーより 録音中の音楽が流れます
⑨	録音曲が終ったら 裏面か別のテープを入れます 再び自動再生→自動録音	TAPE NO TOC CD-RW REC 013 0:16 AUTO TRACK INCREMENT	CD（録音）が一時停止状態です 再びテープを入れると自動で録音が 始まります（自動で曲番が付きます）
⑩	録音終了には 停止ボタンを押します	CD NO TOC CD-RW 015 49:15	CDにテープの内容が録音されました 「テープ取出しボタン」を 強く押込むとテープが取出せます
⑪	CDを完成させる場合は ファイナライズ作業を おこなってください	CD NO TOC CD-RW FINALIZE	ファイナライズ（完成）作業をすると 他の再生装置（CDプレーヤーなど） で聴くことができます

※ファイナライズ（CDの完成）はP.26をご参照ください。

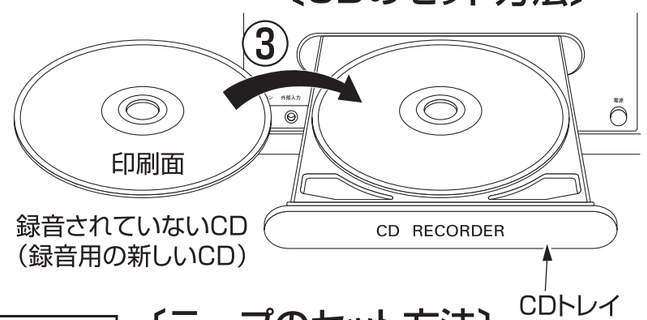
テープからCDへの録音方法

※録音に使用するCDは使い慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

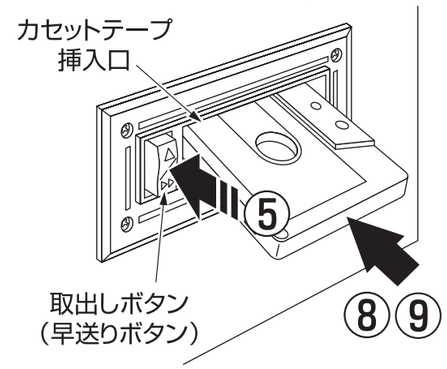




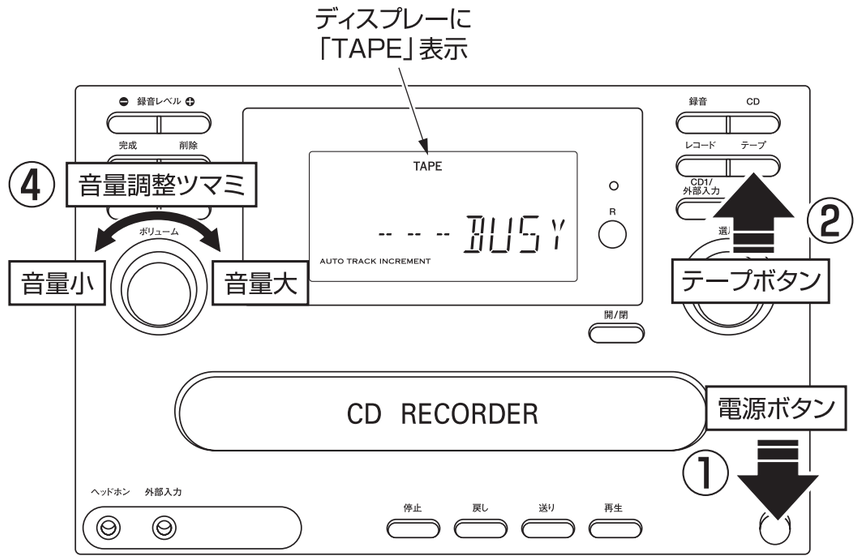
〔CDのセット方法〕

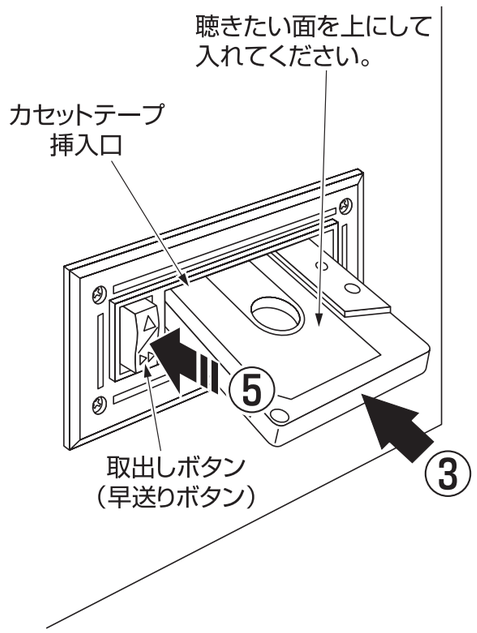


〔テープのセット方法〕



カセットプレーヤーの使い方（再生専用）





①前面パネルの「電源ボタン」を押して電源を入れます。「ディスプレー」が点灯します。

②「テープ」選択ボタンを押します。ディスプレーに「TAPE」が表示されます。

③「カセットテープ挿入口」へ、聴きたい面を上にして図のように押し入れます。自動的に音楽を再生します。

④音量調整ツマミを左右に回し、お好みの音量でお聴きください。（リモコンの音量調整ボタンでボリューム＋【音量大】、ボリューム－【音量小】で調整）

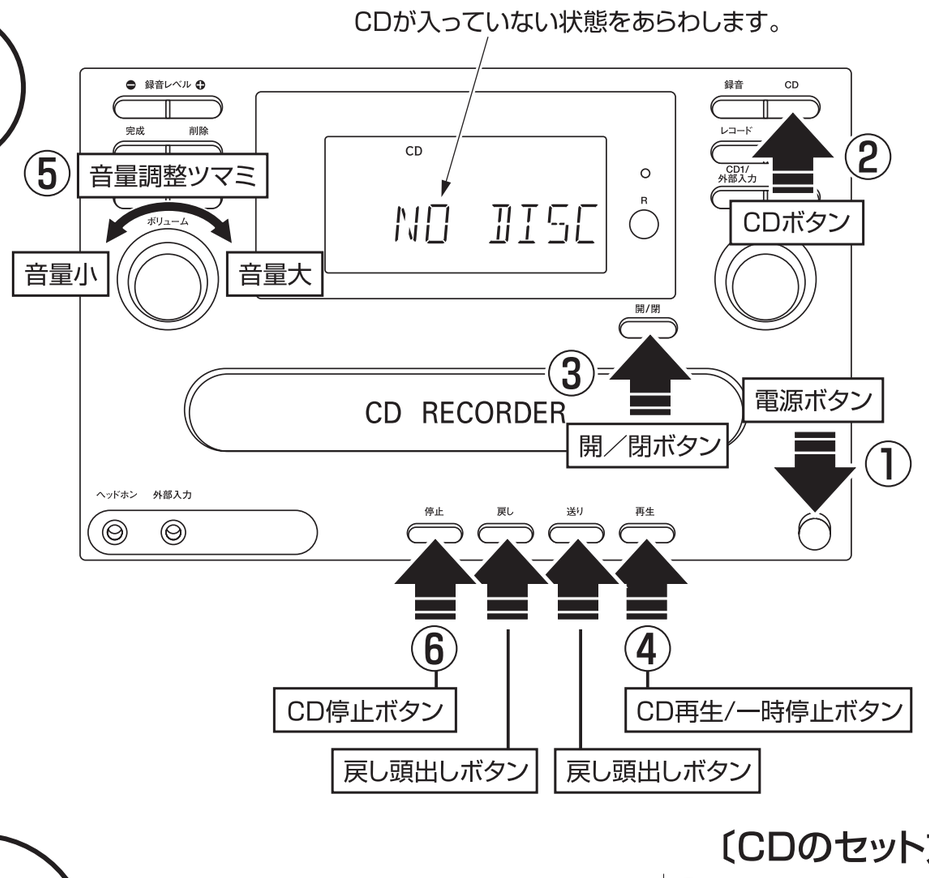
⑤入口の左側にある「取出しボタン」を押すとテープが早送りされます。テープを取り出すときは、さらに強く押すとテープが取り出せます。

注意

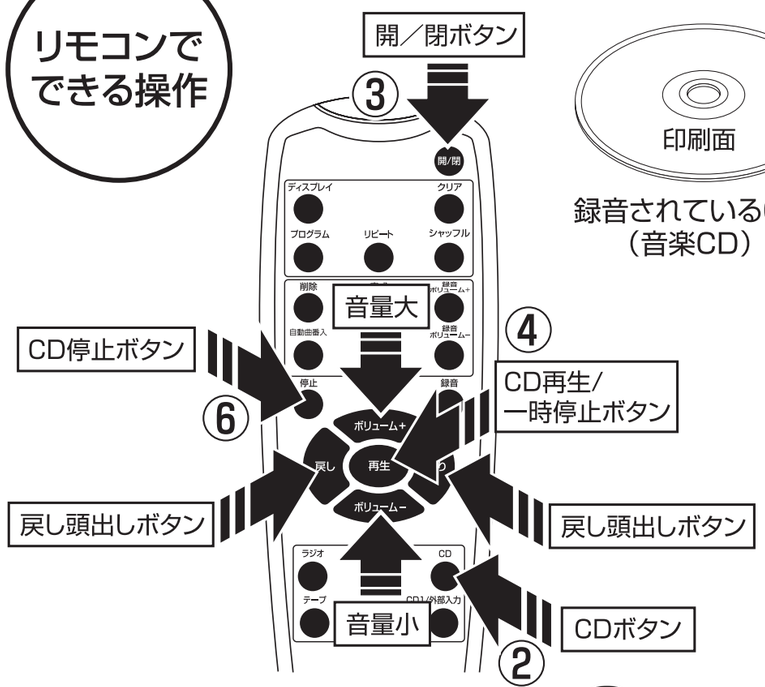
- ●機器に入れる前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの元になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ、方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。
- ●使用するテープは、C-30、C-45、C-60タイプをご使用ください。C-90、C-120タイプはテープが薄く、機器の安定性が悪いので、ご使用にならないでください。

CDプレーヤー2の使い方（再生）

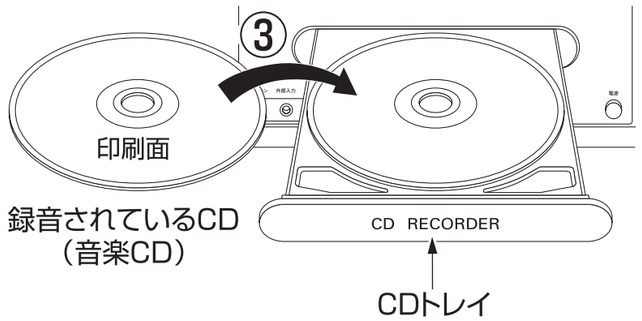
本体操作



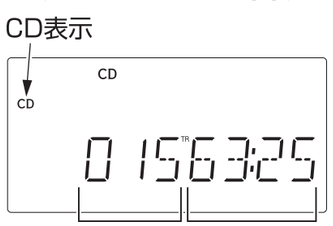
リモコンでできる操作



〔CDのセット方法〕



〔ディスプレー部〕



	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①	電源ボタンを押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	CD -- -- -- BUSY	ディスプレーに「BUSY」表示 「BUSY」表示が消えるまで 次のボタンを押さないでください
②	CDボタンを押し CDを選択します	CD NO TOC CD-RW	ディスプレーに「NO TOC」表示 「CD-RW」または「CD-R」表示
③	CDの開／閉ボタンを押し トレイに録音用CDを入れます	CD NO TOC CD-RW 000 TR 0:00	CDの表・裏を確認して入れます ディスプレーに「000 0:00」表示
④	CD1/外部入力ボタンを 押します	CD1/AUX NO TOC CD-RW AUTO TRACK INCREMENT	ディスプレーに「CD1/AUX」表示
⑤	CDの 録音ボタンを押します	CD1/AUX NO TOC CD-RW REC 000 TR 0:01 AUTO TRACK INCREMENT	
⑥	側面のCD1の開／閉ボタンを 押しトレイに録音したい 音楽CDをセットします	CD1/AUX NO TOC CD-RW REC 000 TR 0:00 AUTO TRACK INCREMENT	CD1は開閉ボタンで閉じると 自動再生します
⑦	CD再生/ 一時停止ボタンを押します	CD1/AUX NO TOC CD-RW REC 000 TR 0:26 AUTO TRACK INCREMENT	ディスプレーの秒数表示スタート 録音スタート　音楽が流れます
⑧	録音中です 録音レベルを調整します	CD1/AUX NO TOC CD-RW REC 000 TR 0:26 AUTO TRACK INCREMENT	録音レベルを「0」付近になるように 録音レベルボタンで調整してください
⑨	録音がが終りましたら 停止ボタンを押します	CD1/AUX NO TOC CD-RW REC 013 TR 0:16 AUTO TRACK INCREMENT	CD2の停止ボタンを押します 録音が終了しました
⑩	CDボタンを押します 録音された曲数、時間が表示	CD NO TOC CD-RW 015 TR 49:15	CDの内容が録音されました まだ完全には録音されていません
⑪	このCDが一杯になるまで 続けて録音できます	CD NO TOC CD-RW 025 TR 59:15	CDやテープなどからも続けて録音できます。 完成作業をするとできなくなります。
⑫	CDを完成させる場合は ファイナライズ（完成）作業を おこなってください	CD NO TOC CD-RW FINALIZE	ファイナライズ（完成）作業をすると 他の再生装置（CDプレーヤーなど） で聴くことができます

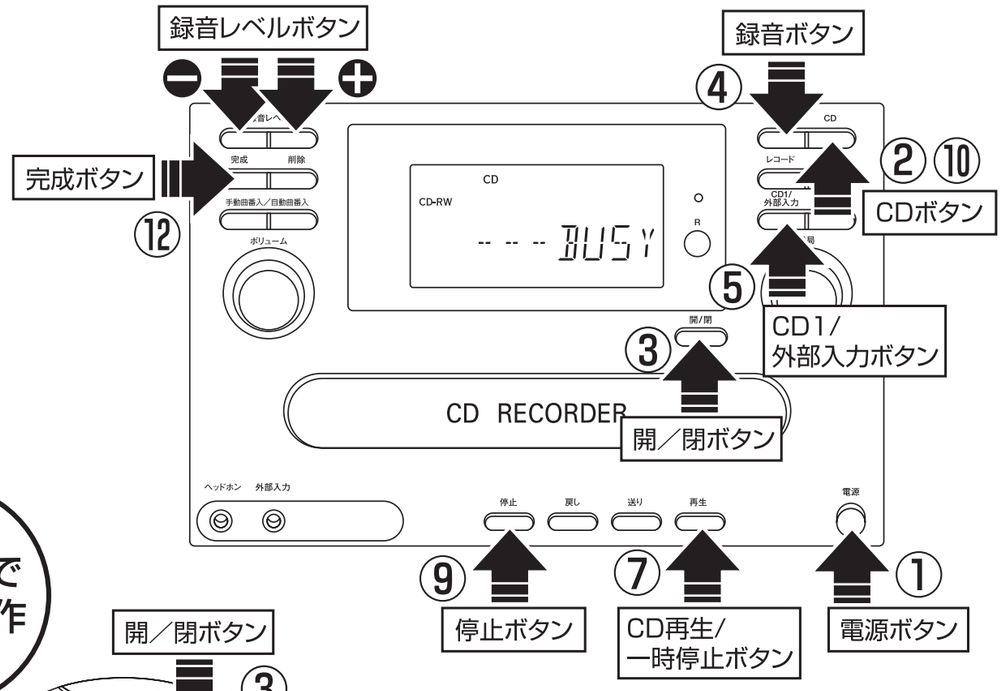
※ファイナライズ（CDの完成）はP.26をご参照ください。

- CDからCDへの録音は、一度停止すると、曲に一つの区切りができます。レコードからCDへ録音、テープからCDへ録音、ラジオからCDへ録音とCDが一杯になるまで何回も録音できます。
- ファイナライズ（完成）をしなくても本機では聴くことができますが、ファイナライズ（完成）作業をしないと、他のCDプレーヤー（市販品）では聴けません。必ず最後にファイナライズ（完成）作業をしてください。
- ファイナライズ（完成）作業をすると、他のCDプレーヤーや車のオーディオ機器で聴くことができます。

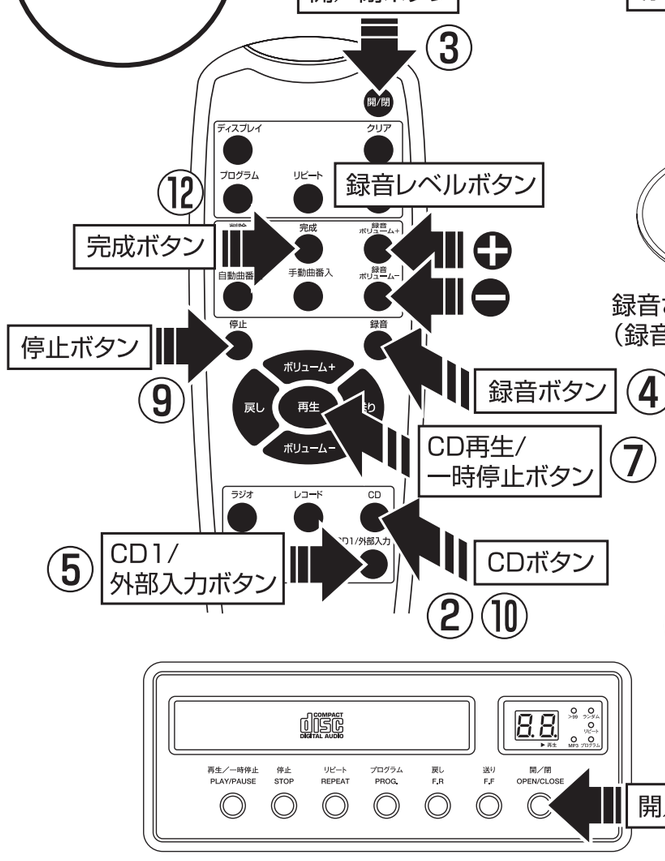
CDからCDへの録音方法

※録音に使用するCDは使い慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

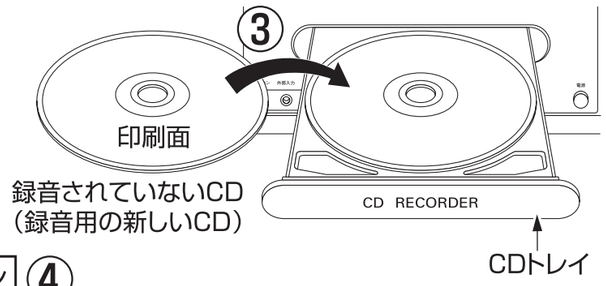
本体操作



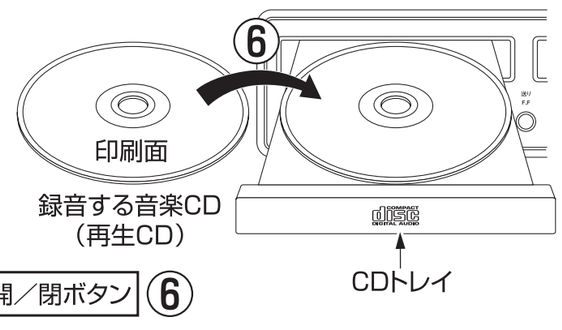
リモコンでできる操作



〔CDのセット方法（CD2）〕



〔CDのセット方法（CD1）〕



	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①	電源ボタンを押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	-- -- BUSY	ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで 次のボタンを押さないでください
②	CDボタンを押し CDを選択します	CD NO DISC	ディスプレーに「NO DISC」表示 CDが入っていない状態
③	CDの開／閉ボタンを押し トレイにCDを入れます	CD CD 01 15 63:25	ディスプレーに「CD」表示 トレイは必ず「開／閉ボタン」で閉める 手で閉めますと不具合の原因となります
④	CD再生/ 一時停止ボタンを押します	CD CD ▶ 001 0:03	秒数表示スタート 1曲目から順に音楽が再生されます
⑤	音量調整ツマミで音量を調整 （リモコンでも調整できます）	19	お好みの音量でお聴きください
⑥	音楽の再生をやめるとき 停止ボタンを押します		再生が終了
⑦	CDの開／閉ボタンを押し CDを取り出します	CD OPEN	トレイが開き CDが出てきます

ノーマル再生

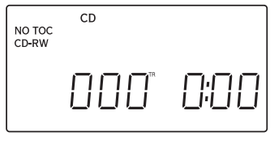
①「再生／一時停止」ボタンを押すと1曲目から順に再生が始まります。

②再生中に「再生／一時停止」ボタンを押すと一時的に停止します。もう一度押すと再生が再開されます。

③再生中または停止中に「送り」ボタンを押すと1曲先を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ先の曲を再生します。「戻し」ボタンを押すと1曲後を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ後に戻り曲を再生します。

注意 CDディスクのディスプレー表示について

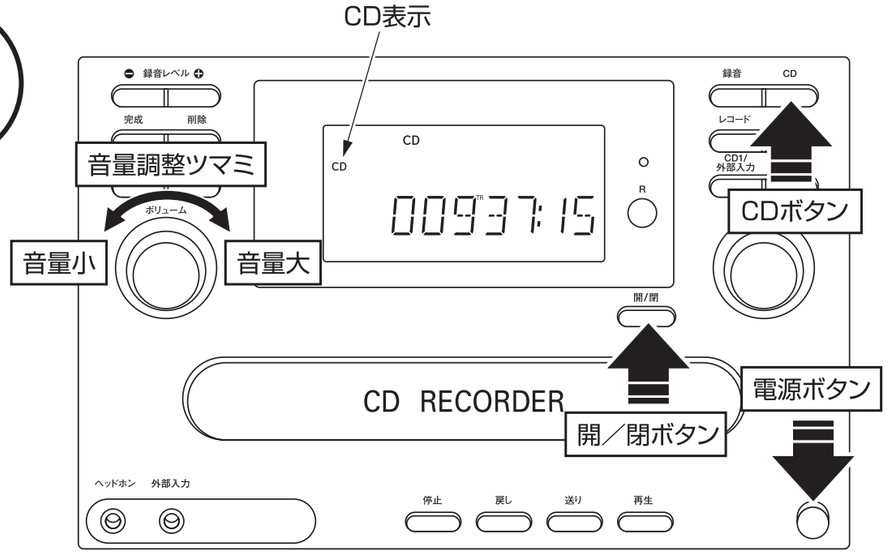
左のディスプレー表示は、音楽CDを入れたときの表示です。曲数と総時間が表示されています。正しく表示されないときは、ディスク上が汚れているか、傷が付いていることがありますので、柔らかい布で録音面をきれいに拭いてから再度試してください。



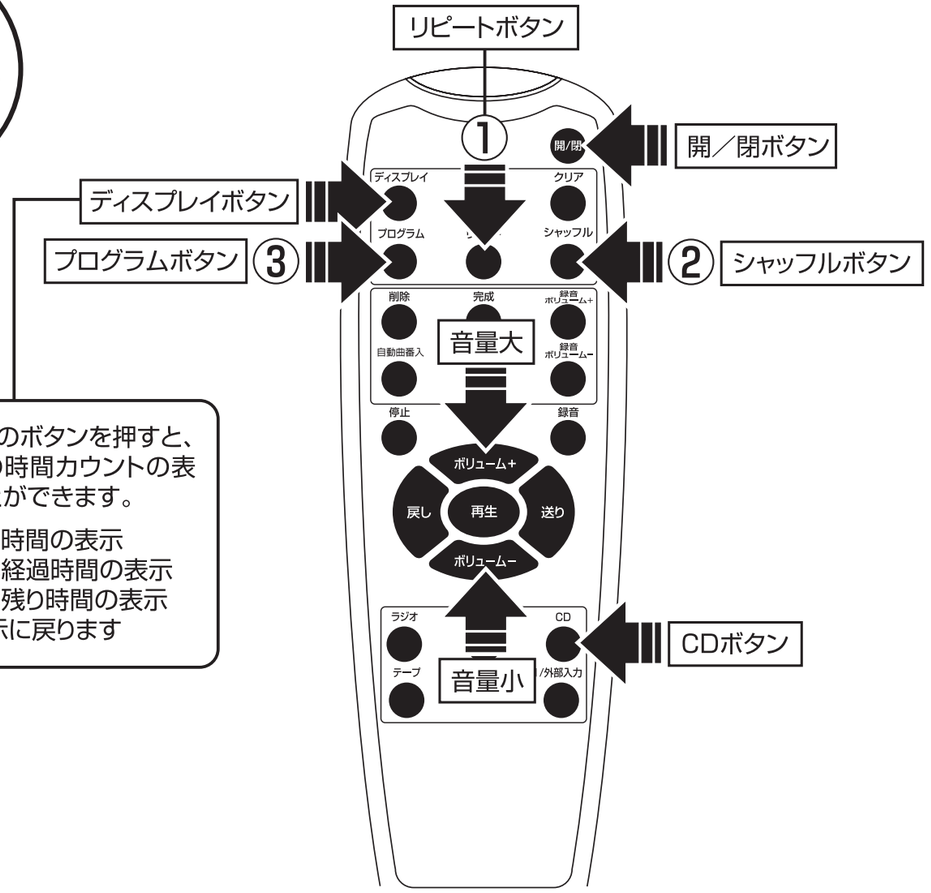
左のディスプレー表示は、CD-RWを入れたときで、なにも録音されてない新しい録音用のディスクの表示です。正しく表示されないときは、別のCDで試してください。ディスク上が汚れているか、傷が付いていることがあります。

CDプレーヤー2の使い方（便利な機能）

本体操作



リモコンでできる操作



CD再生中にこのボタンを押すと、ディスプレーの時間カウントの表示を変えることができます。

①1曲の残り時間の表示
②CD全体の経過時間の表示
③CD全体の残り時間の表示
④もとの表示に戻ります

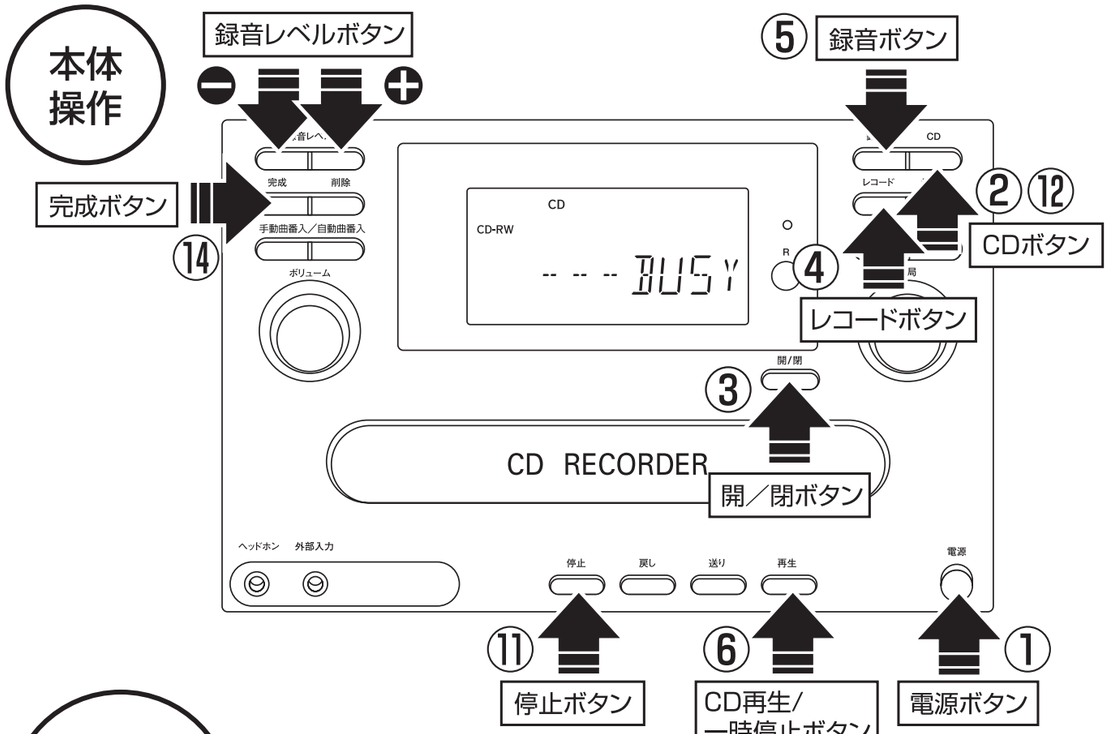
	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①	電源ボタンを押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	CD -- -- -- BUSY	ディスプレーに「BUSY」表示 「BUSY」表示が消えるまで 次のボタンを押さないでください
②	CDボタンを押し CDを選択します	CD NO TOC CD-RW	ディスプレーに「NO TOC」表示 「CD-RW」または「CD-R」表示
③	CDの開／閉ボタンを押し トレイに録音用CDを入れます	CD NO TOC CD-RW 000 0:00	CDの表・裏を確認して入れます ディスプレーに「000 0:00」表示
④	レコードボタンを押し ターンテーブルにA面を上に レコードをのせます	PHONO NO TOC CD-RW 000 0:00 AUTO TRACK INCREMENT	レコードを傷付けないように 扱ってください
⑤	CDの 録音ボタンを押します	PHONO NO TOC CD-RW REC 000 0:00 AUTO TRACK INCREMENT	まだ録音は始まりません
⑥	CD再生/ 一時停止ボタンを押します	PHONO NO TOC CD-RW REC 000 0:01 AUTO TRACK INCREMENT	ディスプレーの秒数表示スタート 録音状態になります
⑦	レコードに針をのせます レコードの再生開始	PHONO NO TOC CD-RW REC 000 0:26 AUTO TRACK INCREMENT	録音スタート　音楽が流れます 録音レベル調整をしてください
⑧	A面の曲が終ると自動で 針がホルダーに戻ります	PHONO NO TOC CD-RW REC 012 0:00 AUTO TRACK INCREMENT	A面録音終了一時的にCDが停止 録音された曲数が表示されます
⑨	レコードを裏面（B面）または 別のレコード盤に交換します	PHONO NO TOC CD-RW REC 012 0:00 AUTO TRACK INCREMENT	CDが一時停止状態です
⑩	再度レコードに針をのせると 自動で録音が再開されます	PHONO NO TOC CD-RW REC 013 0:01 AUTO TRACK INCREMENT	ディスプレーの秒数スタート 再び録音開始されます
⑪	録音がが終りましたら 停止ボタンを押します	PHONO NO TOC CD-RW REC 013 0:16 AUTO TRACK INCREMENT	スピーカーより 録音中の音楽が流れます
⑫	CDボタンを押します 録音された曲数、時間が表示	CD NO TOC CD-RW 015 49:15	A面とB面が録音されました まだ完全には録音されていません
⑬	このCDが一杯になるまで 続けて録音できます	CD NO TOC CD-RW 025 59:15	CDやテープなどからも続けて録音できます。 完成作業をするとできなくなります。
⑭	CDを完成させる場合は ファイナライズ（完成）作業を おこなってください	CD NO TOC CD-RW FINALIZE	ファイナライズ（完成）作業をすると 他の再生装置（CDプレーヤーなど） で聴くことができます

※ファイナライズ（CDの完成）はP.26をご参照ください。

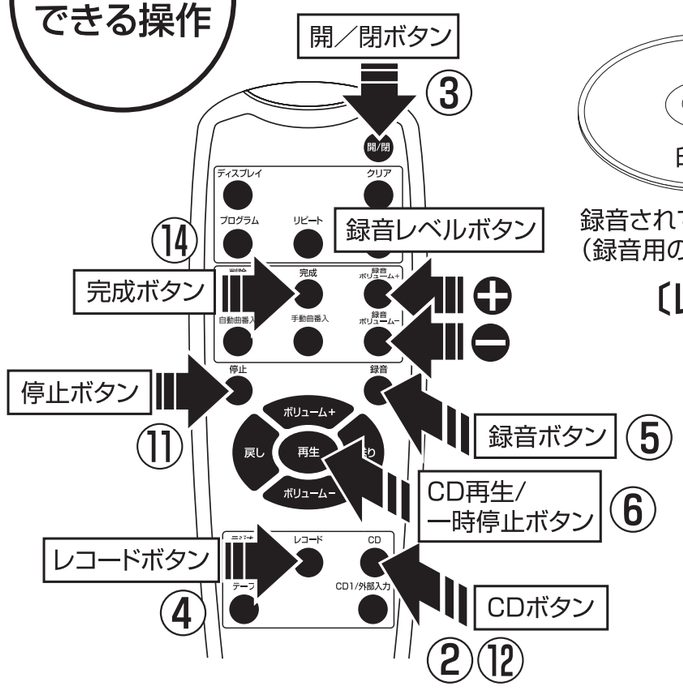
レコードからCDへの録音方法

※録音に使用するCDは使い慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

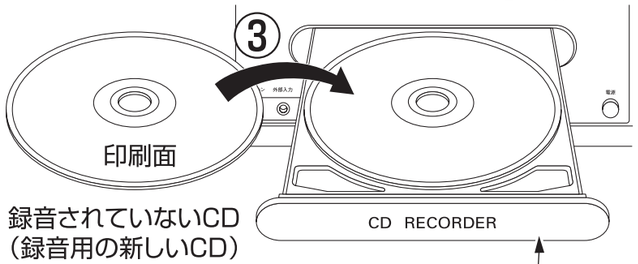
本体操作



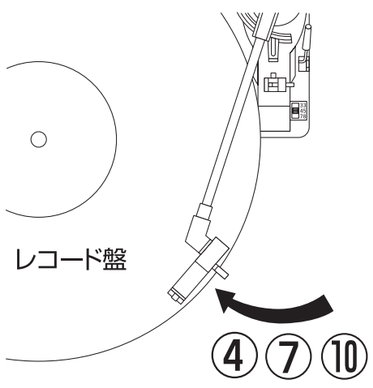
リモコンでできる操作



〔CDのセット方法〕



〔レコードのセット方法〕

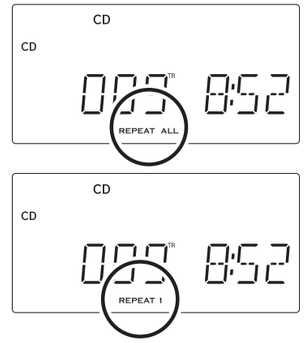


① リピート再生

①停止状態または再生中に「リピート」ボタンを押すと右図のようにディスプレー表示が「REPEAT ALL」と「REPEAT 1」順番に出ます。
②もう一度「リピート」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。
③「再生」ボタンを押すと右図表示の「くり返し」再生が始まります。

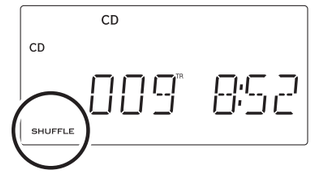
REPEAT ALL ……全曲をくり返し再生します。

REPEAT 1……1曲をくり返し再生します。



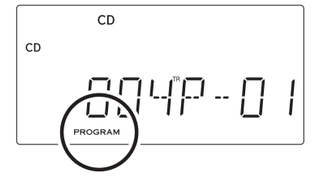
② シャッフル再生

①「シャッフル」ボタンを押すと右図の丸内がディスプレーに表示されます。
②「SHUFFLE」の表示で「再生」ボタンを押すと全曲の順番が不規則に入れ替わって再生されます。
③「シャッフル」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。
④「停止」ボタン押すとランダム再生が解除されます。



③ プログラム再生

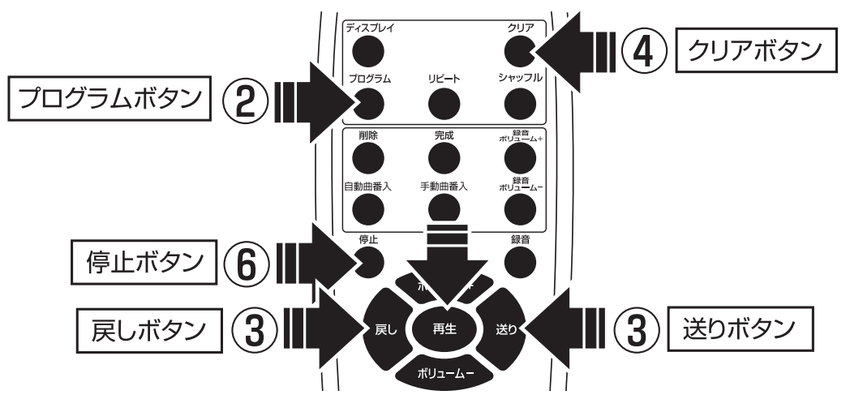
①お好みの曲順に20曲までプログラム再生できます。
②停止状態で「プログラム」ボタンを押すとディスプレーに「PROGRAM」表示が出ます。
③「送り／戻し」ボタンを押し曲を選択し、「プログラム」ボタンを押すと登録されます。これをくり返し曲順を登録してください。
④「クリア」ボタンを押すと、今押したボタンを取り消すことができます。
⑤「再生」ボタンを押すと登録した順に再生されます。
⑥プログラム再生を終了するには、「停止」ボタンを押し、「PROGRAM」表示を消してください。



CDに録音されている曲順番号
（これは3曲目表示）

プログラム表示

プログラムする曲順番号
（これは4曲目表示）

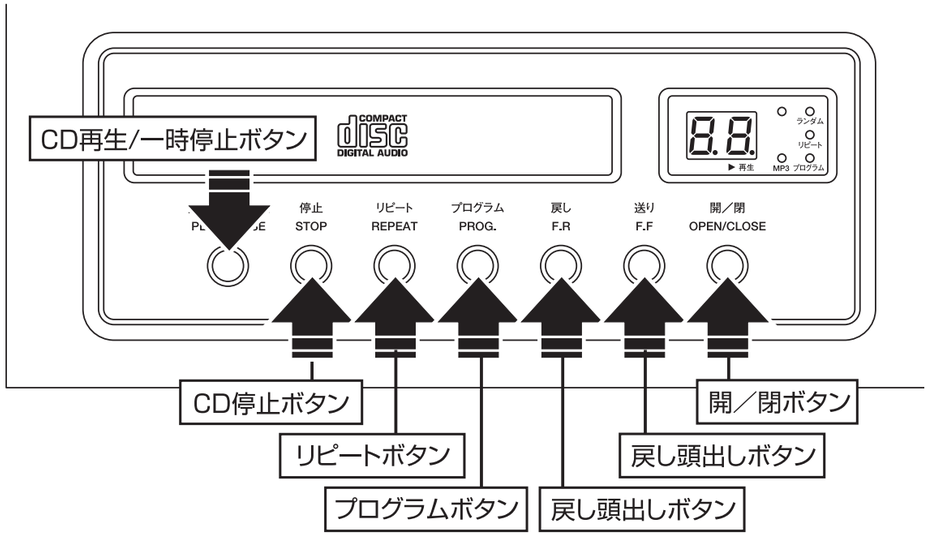


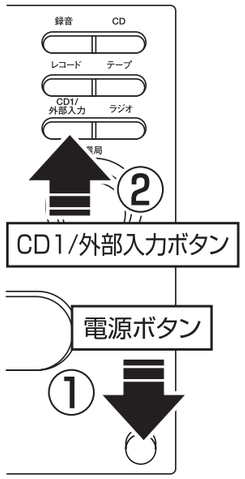
CDプレーヤー1の使い方（側面）

●パソコンなどで製作されたMP3のCD再生について

●MP3方式で製作されたCDは、前面のCD2のCDプレーヤーでは再生できません。
●側面のCD1のCDプレーヤーのみで再生できます。

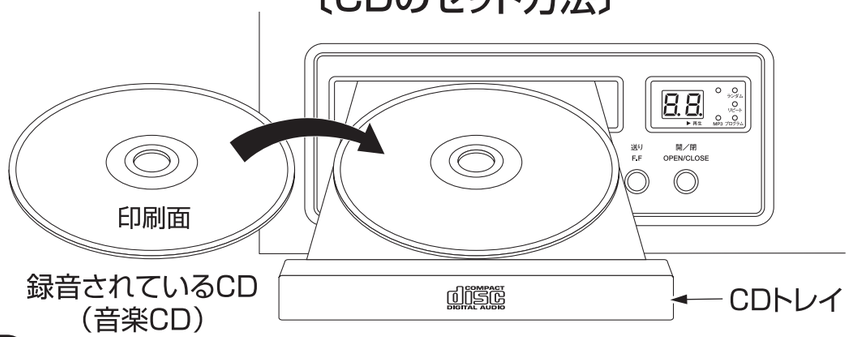
注　意
CDプレーヤー1ではリモコンが使えませんので、本体のボタンで手動で操作してください。





①前面パネルの「電源ボタン」を押して電源を入れます。「ディスプレー」が点灯します。
②「CD1／外部入力」選択ボタンを押してください。

〔CDのセット方法〕

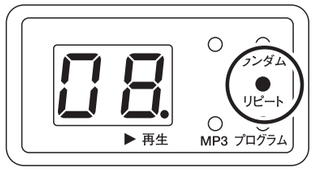


ノーマル再生

①「開／閉」ボタンを押し、出てきたトレイにCDを乗せ、「開／閉」ボタンでトレイを閉めると、自動で再生が始まります。
②再生中に「再生／一時停止」ボタンを押すと一時的に停止します。もう一度押すと再生が再開されます。
③再生中または停止中に「送り」ボタンを押すと1曲先を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ先の曲を再生します。「戻し」ボタンを押すと1曲後を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ後に戻り曲を再生します。

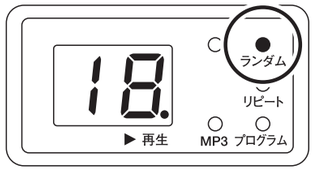
リピート再生

①再生中に「リピート」ボタンを押すと右図のように「リピート」ランプが点滅します。1曲を繰り返し再生します。
②もう一度「リピート」ボタンを押すと「リピート」ランプが点灯してセットされます。全曲を繰り返し再生します。
③もう一度「リピート」ボタンを押すと「ランダム」ランプが点灯します。
④さらに「リピート」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。



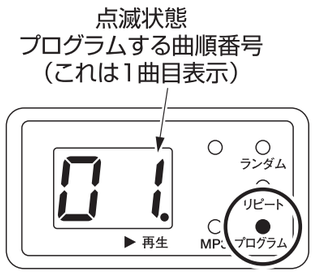
ランダム再生

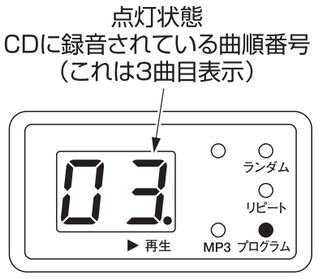
①停止状態または再生中に「リピート」ボタンを押すと「リピート」ランプが点滅します。
②もう一度「リピート」ボタンを押すと「リピート」ランプが点灯します。
③もう一度「リピート」ボタンを押すと「ランダム」ランプが点灯し、全曲の順番が不規則に入れ替わって再生されます。
④さらに「リピート」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。



プログラム再生

①お好みの曲順に20曲までプログラム再生できます。
②停止状態で「プログラム」ボタンを押すとディスプレーに「プログラム」ランプが点灯し、「01」が点滅します。
③「送り／戻し」ボタンを押して選択したい何曲目かの数字をディスプレーに出し、「プログラム」ボタンを押すと登録され、「02」が点滅します。これをくり返し曲順を登録してください。
④「再生」ボタンを押すと登録した順に再生されます。
⑤プログラム再生を終了するには、「停止」ボタンを押し、「プログラム」ランプをを消してください。





MP3のCD再生

①パソコンなどで製作されたMP3のCDを再生することができます。
②前面のCDプレーヤー2では再生できませんので、ご注意ください。